

分析結果報告書〔 1 〕 1 / 2

1.1 廃棄物溶出液試料(カドミウム)

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得（複数回答可）	1．ISO 9001～9003 2．ISO 14001 3．ISO/IEC 17025(が'イ'25) 4．M L A P 5．環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	() 年
分析主担当者の実績（年間の分析試料数）	()

回数	分析結果 (mg/L) 注 1)	
	検出下限値以上 注 2)	検出下限値未満での検出下限値 注 3)
1 回目		
2 回目		
3 回目		

注1) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注2) 検出下限値以上であった場合、分析結果を有効数字3桁で記入する。

注3) 検出下限値未満であった場合、検出下限値を有効数字1桁で記入する。

分析開始月日	月	日
分析終了月日	月	日

分析方法	１．フーラム原子吸光法 ２．電気加熱原子吸光法 ３．ICP発光分光分析法 ４．ICP質量分析法 ５．その他()
使用した水	１．蒸留水 ２．イオン交換水 ３．超純水 ４．その他()

< 前処理 >

試料量	() ml
準備操作（前処理）	1．塩酸酸性で煮沸 2．硝酸酸性で煮沸 3．塩酸による分解 4．硝酸による分解 5．塩酸と硝酸による分解 6．硝酸と過塩素酸による分解 7．硝酸と硫酸による分解 8．その他() 9．前処理を行わない
前処理後の溶液(定容量) 注4)	()ml

注4) 定容とせず、全量で準備操作(溶媒抽出等)した場合には、記入しない。

< 溶媒抽出等 >

準備操作（溶媒抽出等）	1．溶媒抽出 3．その他() 4．実施しない	2．イオン交換樹脂がムによる分離（Cd）
前処理後の溶液の分取量 注4）	()ml	
（溶媒抽出） 溶媒の種類 プレートの種類 抽出回数 溶媒の使用量	1．酢酸ブチル 1．D D T C ()回 ()mL / 回	2．MIBK 2．A P D C 3．キシレン 3．トリオクチルアミン 4．その他() 4．その他()
最終の定容量	()mL	
最終溶液（試験溶液）の液性	1．硝酸酸性 2．塩酸酸性 3．有機溶媒 4．その他()	

注4) 定容とせず、全量で準備操作(溶媒抽出等)した場合には、記入しない。

分析結果報告書〔 1 〕 2 / 2

< 原子吸光法 >

試験溶液の希釈	希釈倍率 () 注 1)
電気加熱法 注入量 注入の方法 原子化の方法 モリブデンの添加	() μL 1 . 自動注入装置 2 . 手打ち 1 . 黒鉛炉 2 . 耐熱金属炉 3 . その他 () 1 . 添加しない 2 . Pdを添加 3 . Pd以外の添加
原子吸光分析装置 バックグラウンド補正 測定波長	1 . 行わない 2 . 重水素ラジカル 3 . 偏光ビーム 4 . その他 () () nm

注 1) 希釈しない場合には、希釈倍率を「1」とする。

< ICP発光分光分析法 >

試験溶液の希釈	希釈倍率 () 注 1)
ICP発光分光分析装置 装置の型式 バックグラウンド補正 超音波ホウライゲルの使用 測定時間 測定波長	1 . 波長走査 (シーケンシャル) 2 . 波長固定 (マルチ) 3 . その他 () 1 . 行う 2 . 行わない 1 . 使用しない 2 . 使用する () 秒 () nm

注 1) 希釈しない場合には、希釈倍率を「1」とする。

< ICP質量分析法 >

試験溶液の希釈	希釈倍率 () 注 1)
スペクトル干渉の低減又は補正 質量分析計 コリジョン・リアクションセル 水素化物発生 補正式による補正 その他	1 . 四重極 2 . 二重収束 3 . その他 () 1 . 行わない 2 . 行う 1 . 行わない 2 . 行う 1 . 行わない 2 . 行う (その方法の概要 :) 補正前の指示値 () 補正後の指示値 () 注 2) 1 . 行わない 2 . 行う ()
積分時間 (質量数毎)	() 秒
質量数	()

注 1) 希釈しない場合には、希釈倍率を「1」とする。

注 2) 指示値としては「イオンカウント値」等を記入する。

< 検量線の作成等 >

定量方法 方法 内標準法 : 内標準物質の種類	1 . 絶対検量線法 2 . 標準添加法 3 . 内標準法 1 . イットリウム (Y) 2 . インジウム (In) 3 . イットリウム (Yb) 4 . タリウム (Tl) 5 . ビスマス (Bi) 6 . ベリリウム (Be) 7 . ロジウム (Rh) 8 . レニウム (Re) 9 . その他 ()
検量線 作成点数 作成範囲 最高濃度の指示値	() 最小 () mg/L ~ 最大 () mg/L 注 3) ()
試料の指示値	1 回目 () 注 4) 2 回目 () 3 回目 ()
空試験の指示値	() 注 5)
検出下限値	() mg/L 注 6)

注 3) 分析装置で測定する溶液中の濃度 (mg/L) を示す。

注 4) 標準添加法では「添加のない試料」の値を示す。

注 5) 標準添加法では記入しない。

注 6) 試料中の濃度 (mg/L) を示す。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--